

1 貧困をなくそう



2 気候をゼロに



3 すべての人に健康と福祉を



4 質の高い教育をみんなに



5 ジェンダー平等を實現しよう



MARUWA

The Sustainable Development Goals SDGs Report 2020

6 安全な水とトイレを世界中に



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに



17 パートナーシップで目標を達成しよう



8 働きがいも経済成長も



9 産業と技術革新の基盤をつくろう



10 人や国の不平等をなくそう



11 住み続けられるまちづくりを



12 つくも責任 つかう責任



13 気候変動に具体的な対策を



14 海の豊かさを守ろう



16 平和と公正をすべての人に



15 陸の豊かさも守ろう



マルワにとってのSDGs

従来のCSRレポートからSDGsへの関連付けを意識し「サステナビリティレポート」として名称を変更し2年目を迎えました。2003年から環境報告書、2009年からCSRレポートとして毎年発行をしてきましたが、例年と大きく違うのは広報委員会の企画で紙面構成がされていることです。

2030年を見据えたバックカスティングの考えで出来上がった2019年の委員会構成。SDGsにある「2030年に必要とされる会社」を意識した活動をまとめました。折しも新型コロナウイルス感染症で過去の延長上で未来を描けなくなりました。SDGsへの当社なりのアプローチで活動した内容をご覧ください。

代表取締役社長 鳥原 久資



CSRビジョン 「発信を通して共感いただける企業を目指す」

マルワのCSR活動は、経営理念「人が集い社会に発信する会社」を原点としています。創業以来、情報手段に不可欠な文字を大切に、印刷業を通して地域の皆様に貢献して参りました。時代が変わり、情報手段は紙だけではなく、SNSや電子媒体など多岐にわたっています。そのなかで、社員と共に社会に発信していくことがマルワの存在価値であり、時代に即して「共感され、共鳴される企業」だと考えています。

低成長時代、人口減少時代となり、過去の延長線上には

ない経営が求められます。新たな事業展開を常に模索し、社員が安心できる働きがいのある会社づくりを目指します。また長く大切にしてきた環境活動を「環境負荷低減」の観点で新たな活動として努めて参ります。

こうした活動と未来創りによってこれからも社員、協力会社、お客さま、地域との絆をより強くしていかなければなりません。存在意義としての自覚と責任をもち、『発信を通して共感いただける企業』を目指します。

CSR基本方針 CSR活動からSDGsへ



1. コンプライアンス

法令遵守だけでなく正しい経営姿勢と方針を発信し、取り組んでいく。



3. 情報セキュリティ管理

情報に携わる企業として、情報管理の徹底と安全運用に努める。



5. 雇用・労働環境

ワークライフバランスを尊重し、安心して働ける環境の維持を行う。



7. 社会貢献

地域清掃やインターンシップの受け入れなどで、地域や学生の教育に貢献する。



2. 環境保全

紙を資源とする企業として、環境の負荷低減と保全に努め、社会に貢献する。



4. 品質

お客さまの期待に応えるため、製品及びサービスの継続的な向上を目指す。



6. 健全経営

利害関係者に貢献し、事業が継続する健全な会社経営に努める。



8. コミュニケーション

「社会に発信する会社」として、様々な媒体で活動や理念を発信し続ける。

バックカスティングの経緯

持続可能な会社を目指して

「つくる責任 つかう責任」

12 つくる責任 つかう責任



当社ではSDGsの目標である2030年の「あるべき姿を」を想定し、そこを起点に現在を振り返って、何をしていくかを考える「バックカスティング」の方法で特に力を入れる3つの方針を掲げました。

これは全社員が年代別・部署別にそれぞれ分かれて行った話し合いの結果です。SDGsの理念にある「持続可能な開発目標」にあるように、全社一丸となって「持続可能な会社」を目指し、関係するお客さまや地域の皆さまに対して、「つくる責任 つかう責任」を果たすことを1番の目標としています。

2030年に向けた3つの方針とその取り組み

新たな事業展開のために

有名な会社になるための
新事業実行委員会

知識・情報をお客さまや社会に
発信 みんなが知っている会社

印刷業に+αする形で取り組んできた活動を発信し、深めていくことを目指します。SDGs、BCP、MUD、マーケティングなど様々な取り組みに積極的に関わり、新事業として伸ばしていきます。

主な活動

- ▶ 各種イベントへの出展
- ▶ アワード/コンペの参加
- ▶ 新たな事業の企画



働きがいのある環境づくり

働きがいのある環境づくり
実行委員会

全ての社員がやりがいをもち、
イキイキと働ける会社

仕事を可視化することで「やりがい」をより実感しやすいと考え、新たなシステムを導入し、仕事の成果が分かる環境づくりを目指します。そして仕事の見直しを行い、将来的にフリーオフィスを実現します。

主な活動

- ▶ 会社見学の企画・運営
- ▶ 健全経営の推進活動
- ▶ 社内イベントの企画・立案



環境負荷の低減に対する取り組み

環境負荷低減実行委員会

資源の有効利用 ペーパーレス化

環境に対する負荷を低減する必要性が強く要望され、紙を資源とする当社でも「ペーパーレス化」を2030年に実現するべきと考えました。できること、解決すべき課題を探し、具体的な実践に取り組みます。

主な活動

- ▶ 社内外の環境活動の運営
- ▶ 認証マークの維持管理
- ▶ 省エネ、廃液の監視



Value Chain



マルワの事業活動とバリューチェーン

事業内容

- 総合印刷 企画・デザイン・印刷から加工まで
 販促企画 ノベルティ、記念品、イベント企画運営、マルチメディア、ホームページ、動画制作
 人材派遣 採用支援事業・人材派遣事業(人材派遣許可番号 派23-303081)、人材紹介事業(職業紹介許可番号 23-ユ-301810)
 その他 企画、取材、リライト、出版、各種講演

事業の流れとそれとともなうバリューチェーン

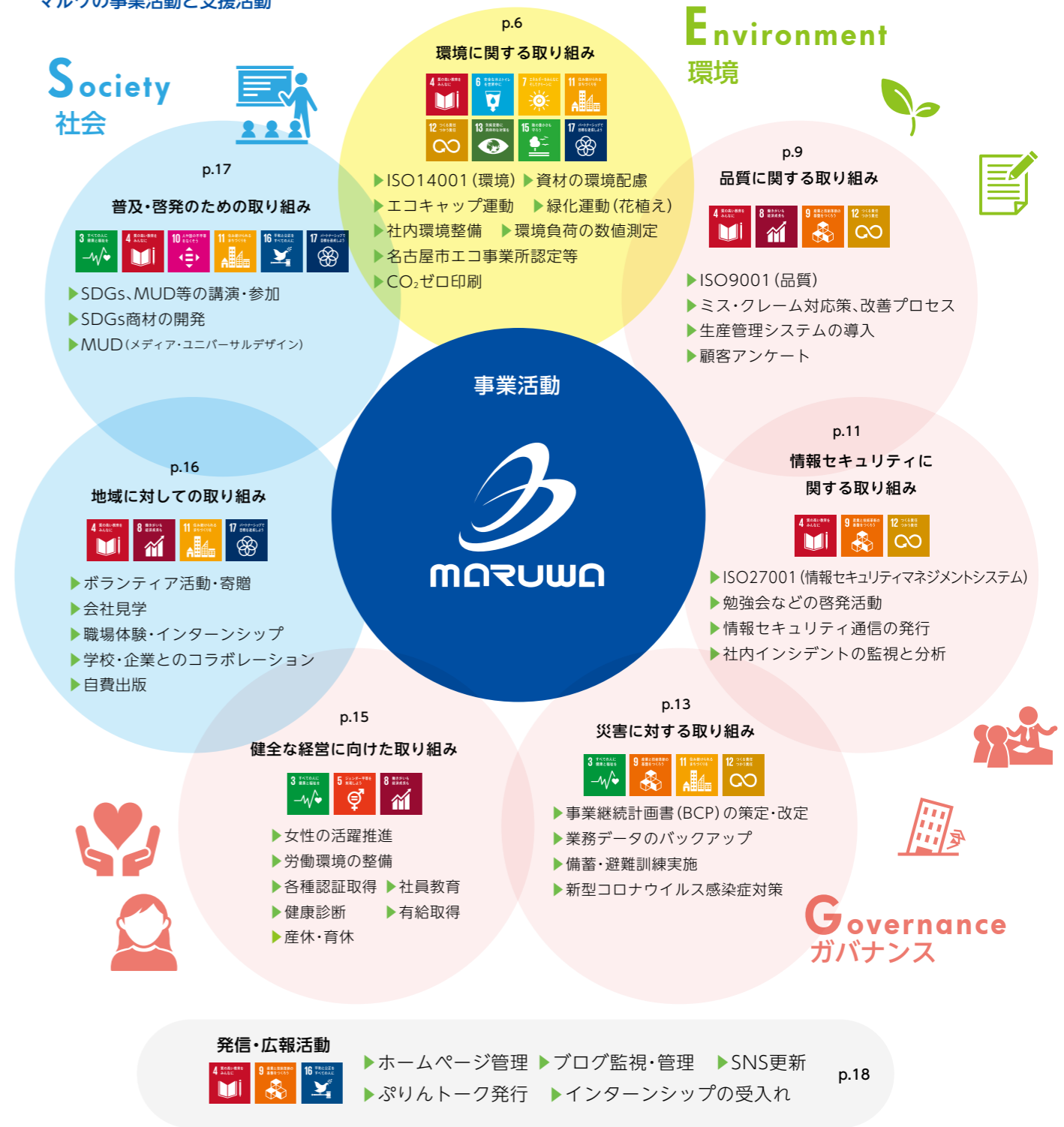
1つの製品がお客さまのもとに届くまでには、さまざまな事業活動が発生し、持続的な経営には会社の強みや独自性を理解し、社会に対してどのような影響があるかを明確にすることが重要と考えます。当社の事業活動を工程ごとに分類し、どの部分で、どのような独自の付加価値が生み出されているかを下記にまとめました。

製造過程におけるリスクとマルワの取り組み

ステージ	懸念されるリスク	マルワの取り組み	関連するSDGs
受注	不適切な価格、価格競争による疲弊	適正価格の見直し(価格競争に乗らない) 環境・行政施策・教育関係とのつながりによる素早い情報提供	6, 11
	資材が環境に及ぼす悪影響	環境配慮された資材の調達、使用 グリーン購入法に基づいた資材調達 ・バナナペーパー ・FSC森林認証紙 ・GPマーク ・ノンVOCインキ	15, 16, 17
制作	伝わらないデザイン・表現 不適切な表現 著作権の侵害 情報漏洩	「伝わる制作物」 ・MUD(メディア・ユニバーサルデザイン) DTPエキスパートの取得 定期的な勉強会による知識/技術の全体的向上 電子校正の促進(PDFによる校正) 情報セキュリティのルール化 ・作成データ/顧客データの管理、トラッキング ・廃棄ルールの策定 ・こまめなルールブックの見直しと周知 多能工による特定作業への負担軽減	3, 4, 8, 9, 12
	資材、廃液、廃ガムによる環境負荷 機械の老朽化による事故 過剰な電力消費	CO ₂ ゼロ印刷(カーボンオフセット) 環境負荷低減資材の管理・使用推進 ・数値計測(電力・騒音廃棄物)、記録 ・定期的なメンテナンス 一貫生産による品質管理 協力会社との綿密なやり取り	6, 7, 11, 12, 13, 15, 17
納品	納期の遅れ 過剰包装による環境負荷 非効率な配送によるエネルギー消費	リサイクル可能な梱包 効率的な配送ルートを選定	13, 15
	非リサイクル資材による環境負荷 成果がわかりにくい	認証マークによる啓発 顧客アンケートによる効果測定	4, 8, 12

53期の主な取り組み

マルワの事業活動と支援活動

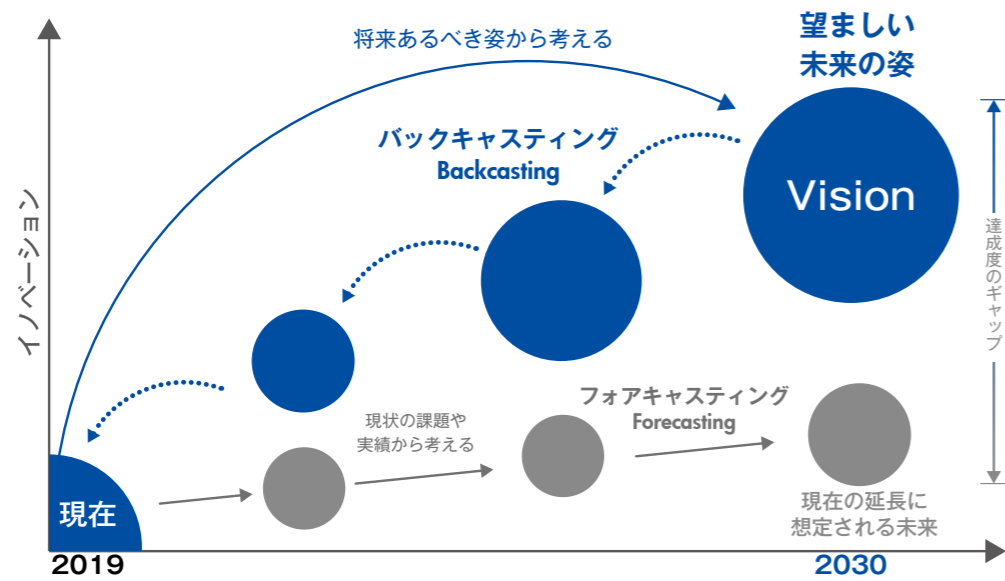


SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称です。SDGs(エス・ディー・ジーズ)と発音します。SDGsは2015年9月の国連サミットで採択されたもので、国連加盟193か国が2016年～2030年の15年間で達成するために掲げた目標です。

Backcasting

マルワが描く、
2030年



53期のマルワはSDGsの実現に不可欠なバックキャストिंगの考えをベースに活動をスタートしました。バックキャストिंगとは「未来のあるべき姿」から解決策を見つける思考法です。表現を変えれば「未来から現在に逆算」していく方法とも言われています。今までは過去の経済成長を元に未来を考えてきました。これをフォアキャストिंगといい、過去の延長上に未来があるという思考です。

ところがご存知のように今は過去の成功事例が役に立たない時代です。特にAIの進化は我々が予想しなかった世界を創り上げようとしています。ましてや昨今の新型コロナウイルス感染症の世界的な流行は、かつてのビジネスモデルが役に立たないことを暗示しています。

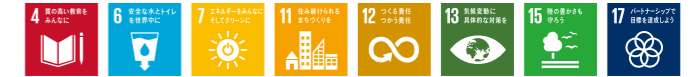
先のバックキャストिंगは、具体策や正解がすぐにはわからないものへの解決に適しています。その理由は飛躍的なアイデアにあります。これまでになかった新しい発想が生まれやすく選択肢に制限がなくなるからです。

マルワは長く品質、環境、情報のISOを基本として事業活動や委員会活動をしてきました。53期からはバックキャストिंगの思考で、2030年を見据えた新たな4つの委員会に再編成をしました。「持続可能な必要とされる会社」になるために、今何が必要かをベースとした考えです。

例えば「環境負荷低減実行委員会」が掲げた目標に「ペーパーレス」があります。印刷を生業とする我々にとってペーパーレスは相反するように感じますが、この飛躍的な思考そのものがバックキャストिंगです。この考えをベースとした活動はまだ始まったばかりなので、満足な成果にはつながっていません。一方で、今回のレポートはこの思想を社員目線で解釈し、社員の手で企画、構成されています。

当たり前と言われてきたビジネスモデルが、これから大きく様変わりすることは間違いありません。折に触れバックキャストिंगの思想で会社の立ち位置を検証し、これからも2030年に必要とされる会社に向かって社員と共に邁進していきます。

ISO14001行動指針 | 地球に優しさ発信 環境に関する取り組み



人にも地球にも 優しい印刷を…

Printing for
the environment



53期の主な取り組みと関連するSDGs

1 環境に配慮した 印刷・製造のために



2 持続可能な 社会のために



環境に配慮した印刷・製造のために

海洋プラスチックゴミ問題などを受けてレジ袋が有料化されるなど、環境への負荷を低減し、配慮する動きが高まっています。印刷という「ものづくり」に携わる企業として、環境に対する様々な取り組みを行っています。

CO₂ ゼロ印刷

企業活動で発生する温室効果ガスのうち、削減できない排出量分を他の事業の排出削減・吸収に繋がる取り組みで埋め合わせる「カーボンオフセット」を実施し、CO₂排出量をゼロにしています。



カーボンオフセット
人間の経済活動・生活を通じて発生する温室効果ガスを、植林・森林保護・クリーンエネルギー事業などで削減することで吸収する(排出権購入)という考え方と活動。

印刷から環境負荷を軽減するために

「発想から発送まで」社内一貫生産の強みとして、全ての工程において環境に配慮した取り組みを行っています。一目で環境に配慮していると分かる認証・マークを印刷物に表示することができます。

- ▶ 環境配慮用紙使用
- ▶ 現像レスCTP機使用
- ▶ 機械の定期メンテナンス
- ▶ 低燃費営業車導入
- ▶ ガソリン使用量の計測
- ▶ 多能工による効率化
- ▶ ゴミの分別
- ▶ 植物油インキ(VOC 1%未満)
- ▶ デジタル印刷機導入
- ▶ エコ運転実施
- ▶ 配送一括管理
- ▶ 電気使用量の計測
- ▶ リサイクル可能な包装

資材の環境配慮

当社ではカーボンオフセットなどの取り組みや環境に関する各種認証の取得だけでなく、グリーン購入法に準じた資材調達（GPマーク）、FSC森林認証紙、バナナペーパー、植物由来インキの採用などで環境に配慮しています。



GPマークの付いた資材

植物由来のインキ

■ GP マーク

(グリーンプリンティングマーク)

印刷資材から製造工程、製造する印刷会社の取り組み全てが対象となる総合的な環境配慮マークです。印刷物に表示することで環境に配慮していることを示すことができます。2006年に取得（3年毎更新）。

53期 GP マーク認証件数



■ FSC® 森林認証紙

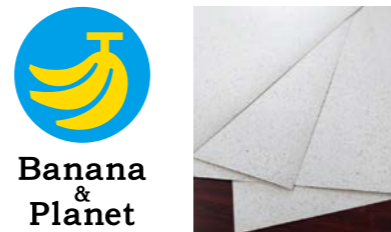
持続可能な社会のために、適切に管理された森林を供給源として製造された紙のみにつく認証です。森林の運営・伐採・加工・流通の全ての工程が管理された番号で紐づけられ、認証を取得した事業者のみが扱うことができる環境に配慮した紙です。

53期 FSC® 認証件数



■ バナナペーパー

アフリカ・ザンビアで栽培されるバナナの茎を原料に、和紙の製法で作られるフェアトレードペーパーです。環境以外にも現地の雇用問題などSDGs17の目標の全てに繋がります。当社では印刷用紙として活用・普及に取り組んでいます。



2 持続可能な社会のために

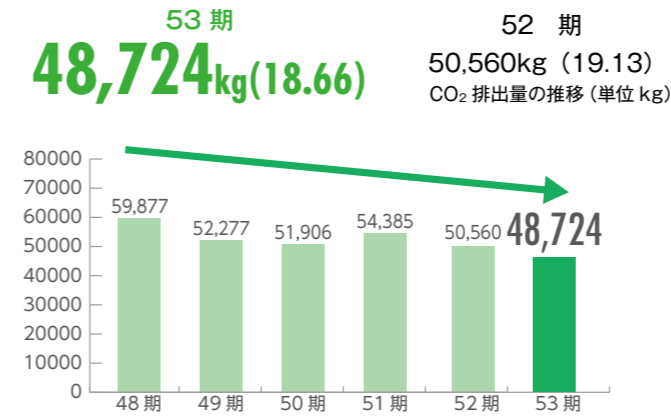
計測各種

当社ではISO14001（環境マネジメントシステム）を取得しています。「環境に優しい方法で処分する」のではなく、「はじめから環境に悪影響を出さない仕組みにする」のがISOの考え方です。例えば、プリントアウトをする時に、「本当に必要なものかを考えてから印刷する」、「はじめから環境に優しい資材を無駄なく使う」、などです。このような環境活動を通して社会的責任を果たしていきます。

部署	企画・営業課	業務課		制作課
内容	ガソリンの原単位管理	電気量の原単位管理	紙ごみ量の原単位管理	廃インクリボン数
目標	3,600円/ℓ以上	0.3以下	0.1以下	目標2,500枚以上/本
結果	6,991 円/ℓ	0.22	0.09	1,920 枚
判定	達成	達成	達成	未達成
部署	印刷課			
内容	廃ガム液率	廃インキ率	ウエス数	
目標	10%以下	17%以下	1,500枚以下	
結果	9%	14.76%	885 枚	
判定	達成	達成	達成	

53期
2019年9月
～
2020年8月

■ CO₂ 排出量（原単位）監視



※コロナ禍で活動に制限があり大幅に減少

■ エコキャップ運動 集め始めて11年目

53期 **3,784**個 累計 **485,285**個

目的

- ▷リサイクルの促進*
- ▷CO₂の削減
- ▷売却益で発展途上国の医療支援
- ▷障がい者・高齢者雇用促進



*リサイクルされた後、オイルバステルやうちわの骨、バイクの部品などに生まれ変わります。

社内・地域・社会への取り組み

■ 環境の勉強会

FSC森林認証紙普及啓発、ごみの分別、整理整頓についてなどのテーマで定期的に勉強会を開き、環境への意識を高めています。



■ 公園掃除（毎月）

全社員で会社前の公園を清掃しています。ゴミ拾いのほか、季節によっては草を取ったり、落葉を集めたりしています。



■ 啓発活動

朝礼での告知や掲示物の作成などで全社員に環境活動や感染予防対策などを周知しています。

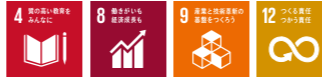


花植え活動について……

今期は今までの緑化活動が認められ、『花の王国あいち』サポート企業に認定されました。また、『なごやグリーンウェイブ2020』に参加協力（国際生物多様性の日（5月22日）にアジサイの苗を植樹）しています。



品質に関する取り組み



品質以上のものをお届けするために



Quality and more...

53期の主な取り組みと関連するSDGs

1 発注いただいたお客さまの期待を裏切らないために

2 分析から最適化を図る

1 発注いただいたお客さまの期待を裏切らないために

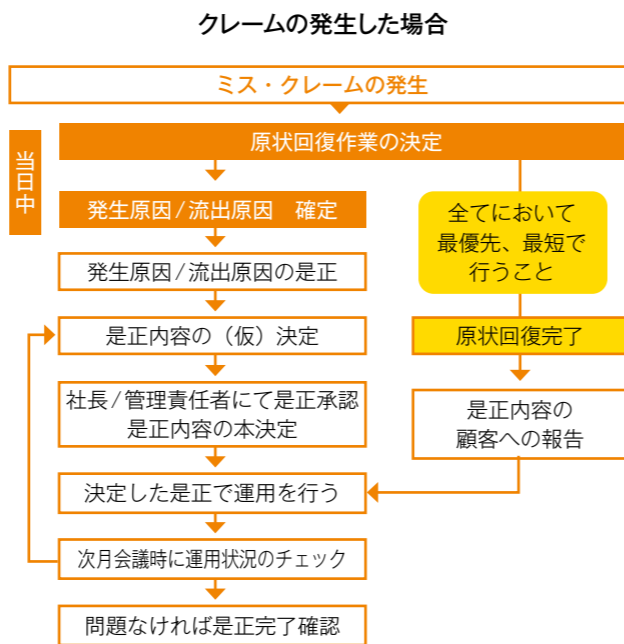
営業的な取り組みでは、「+αのご提案・サプライズ」などが大切ですが、品質管理ではお客さまに「ご満足いただけること」、「クレーム品をお届けしないこと」が重要です。そのための制作工程・チェック体制の構築、更新を実施しています。

ミス・クレーム対応策 / 改善プロセス

ミス・クレームが起こった場合は、原状回復が最優先です。そして同時進行で行うのが正活動です。発生してしまったことが、次に起こらないためにどうしたらよいのか？ 決定した対策をPDCAサイクルで一定期間運用・効果確認後、正式に当社のルールとします。しかし、今あるルールが運用できていない、理解できていない場合が多いのも現状です。その際は、個人の再教育、内容を部署全体で共有することで発生する可能性を減らします。また人の入れ替わりなどもあるので、部署での教育・全社での教育は年間計画に組み込んで行っています。

各部署の最大課題

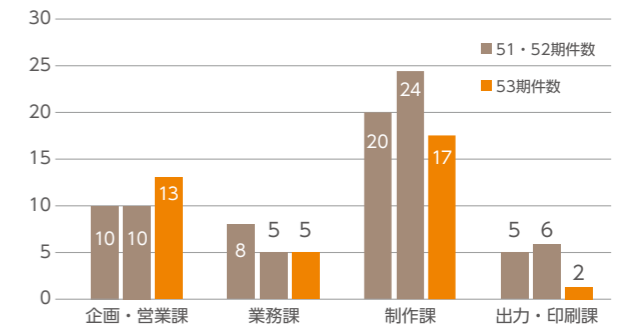
企画・営業課	指示書作成、手配、顧客指示内容の理解不足
業務課	発送、仕分け、梱包の指示内容の理解不足
制作課	誤植、制作ルールの未設定・遵守の不徹底
印刷課	印刷汚れ、抜き取りチェックの頻度不足



■ ミス・クレームに関して

各部署で発生する内容に例年と大きな差がなく、同じミスを繰り返す傾向があることがわかります。しかし中でも、制作課はチェック体制の強化の効果で少しずつ件数が減ってきました。逆に数が増えた企画・営業課は、部員の経験不足が要因のミスが目立ちます。個人での活動が多い日常で、先輩などのチェックが甘かったのも原因の一つと考えました。現在は若手に対してチェック担当をつけてミスを未然に防ぎ、先輩の経験を継承するよう意識することで減少してきています。

部署別クレーム数の比較



2 分析から最適化を図る

新たな生産管理システムの導入

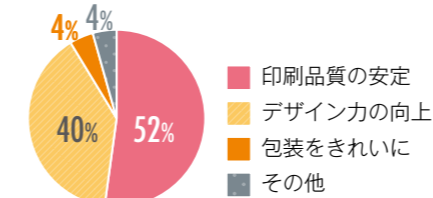
53期に新たな生産管理システムを導入しました。当社自体の利益管理はもちろん、このシステムによって、作業工程の管理や進捗の共有を行い、全社員がすべての案件を把握できる状態を目指しています。お客さまに対して期待できる効果として、予算に沿ったご提案や確実なスケジュールの管理、作業のスピードアップがあげられます。これはアンケートの要望にも沿ったもので、54期から正式運用を開始します。



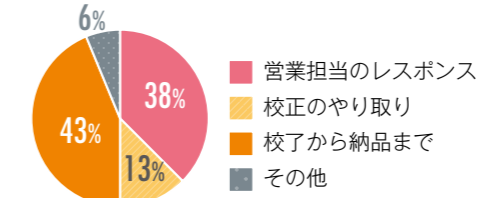
顧客アンケート

毎年、5月頃にお客さまにアンケートを行います。今期は、コロナ禍のタイミングであったこともあり、例年とは少し異なる結果となりました。

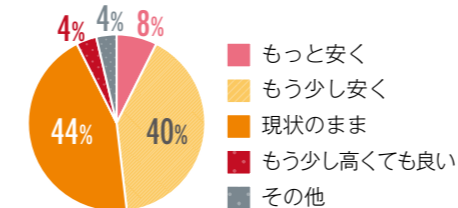
A) 品質についての要望



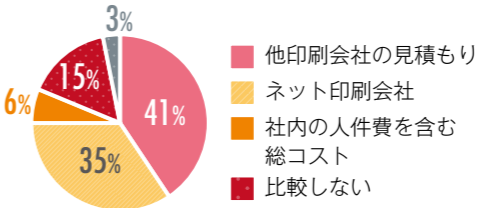
B) スピードを求めたいことは



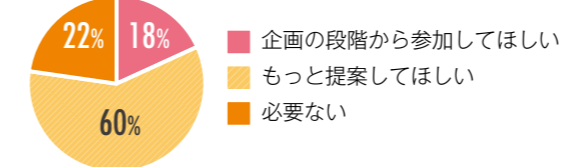
C) 価格について



D) 価格比較の仕方



E) 企画・提案について



所感

お客さまも、現在の景況に危機感があることが見えてきています。

一方で、当社の行動内容に大きく変化が無かったこと、お客さまのニーズの変化に敏感になっていなかったと感じています。

このアンケート結果を踏まえて、54期は全社でアイデアを出して、営業がお客さまに提案を行う機会を増やせるように計画中です。

なかなか訪問営業が難しい状況ですが、様々なツールを使って発信していくことが重要だと感じました。

情報セキュリティに関する取り組み



情報資産の管理及び 社員の情報資産管理 意識の向上

Security and privacy



53期の主な取り組みと関連するSDGs

1 社員教育・勉強会
などによる
社内啓発

2 情報セキュリティ
通信の発行

3 社内インシデントの
監視と分析

社員教育・勉強会などによる社内啓発

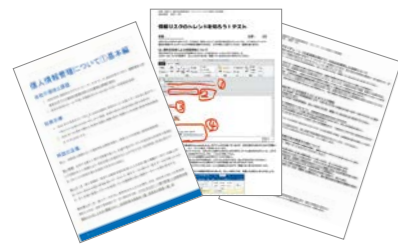
お客様からお預かりしている大切な情報を安全に管理するため、そして関連する法令を遵守するために定期的に啓発活動を実施しています。



53期の研修・勉強会

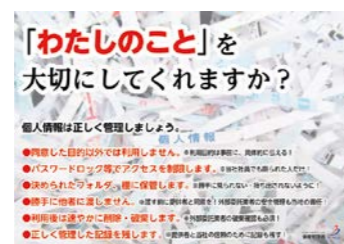
- ▶ 新入社員への研修（4月）
- ▶ 全社員向け勉強会（2月、7月）
- ▶ 社内掲示物作成（9月）
- ▶ 社内SNSなどでの注意喚起（適宜）
- ▶ 情報セキュリティハンドブック改訂（4月）
- ▶ 情報管理状況の報告、注意喚起（毎月会議時）

全社員向け勉強会資料



資料を作成して勉強会を実施しました。テーマは「情報セキュリティの一般常識（2月）」と「個人情報管理手順確認（7月）」でした。

社内掲示物



毎年重点活動項目に関連した啓発ポスターを作成しています。今期は個人情報管理についての注意喚起ポスターを作成し、掲示しました。

情報セキュリティハンドブック



情報セキュリティに関する社内ルールを簡潔にまとめたハンドブックは毎年見直し、全社員に配布しています。

2 情報セキュリティ通信（インフォぷりん）の発行

▶ 発行の目的は、社員の情報管理知識向上とお客さまへの有益な情報の提供

- 9月 ▶ パスワード設定のコツ（2019年版）
- 10月 ▶ クレジットカード情報が漏えいしたら…
- 11月 ▶ 印刷物作成（納品）に伴うPDFデータ提供について
- 12月 ▶ マルウェア「EMOTET」にご注意ください！
- 1月 ▶ 海外でスマホを使うときに注意すること
- 2月 ▶ 不要になったパソコンの正しい処分方法
- 3月 ▶ 在宅ワークの情報セキュリティリスクと対策
- 4月 ▶ WEB会議のリスクについて
- 5月 ▶ リンク先の安全を確認しましょう
- 6月 ▶ 個人情報保護法改正で変わる企業の対応について
- 7月 ▶ 個人情報の適切な管理2020 ①～個人情報の定義～
- 8月 ▶ 個人情報の適切な管理2020 ②③～取得・利用の制限～

1年のテーマ：今期はテレワークやweb会議などについてのネタも取り上げました。

発行開始から
100号
を突破！

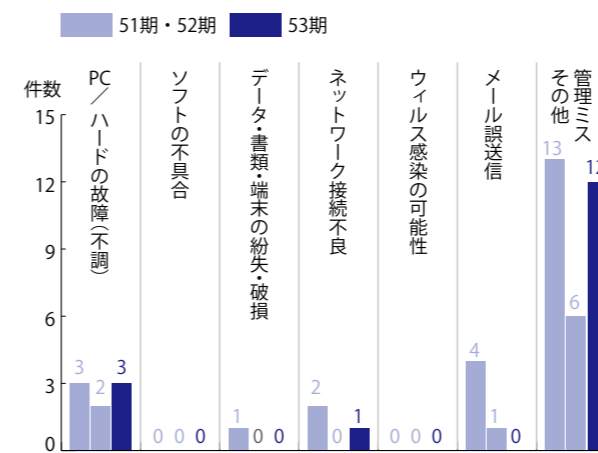


時事ネタも含めて、毎月1つのテーマを決めてA4サイズ1枚（たまに2枚）にまとめています。

3 社内インシデントの監視と分析

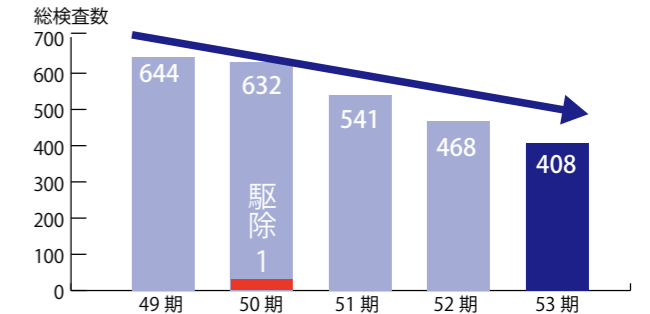
- ▶ 毎月の全社会議でインシデント発生状況を報告し、周知することで大きなトラブルの発生を抑止
- ▶ インシデント傾向を把握することで、有効な対策の選定と実施につなげている

社内インシデント発生件数と分類



大きなトラブルに繋がるようなインシデントは発生していませんが、管理ミス（作業手順の不備、必要な作業のやり忘れなど）が散見しています。テレワークの実施など管理が行き届かなくなることが想定されるため、社内ルールの再周知と確実な運用を今後の課題として、勉強会を中心とした社員教育に注力していきます。

所持媒体のウイルス検査実施数と駆除数



USBメモリなどの記憶媒体を使って原稿データをお預かりする場合があります。記憶媒体は便利な反面、ウイルスが混入する原因にもなり得ます。

そこで、当社では、お預かりした記憶媒体を利用前に検査専用のPCで検査し問題ないことを確認したうえで、データを取り出して使用しています。万が一感染していた場合は可能な限り駆除してお返しています。

また、当社内のすべての端末にはセキュリティ対策ソフトを導入し、常時監視を実施しています。

災害に対する取り組み



事業継続計画 (BCP) について

Business Continuity Plan



53 期の主な取り組みと関連する SDGs

1

事業(情報・人的資産)を守る取組み

2

被災時の備え

3

新型コロナウイルス感染拡大防止対策

1 事業(情報・人的資産)を守る取組み

事業継続計画書の策定・改定

大規模災害や感染症流行に備えるための事業継続計画書を策定しています。毎年1回以上の見直しを実施し、当社の人・情報・資材などの資産を守るために何をしたらいいかを考え、計画書に則って対策を実施しています。



■ 業務データの定期的なバックアップ実施

情報資産を保持することが当社の事業を継続するためにも重要と考えています。そこで、見積データ、編集データ、業務マニュアルなど社内データのバックアップを毎日実施するだけでなく、定期的に物理的遠隔地でも保管するようにしています。

2 被災時の備え

■ 備蓄・避難訓練実施

大型自然災害発生時に備えて、飲料水、パンの缶詰、簡易トイレなどを定期的に更新しています。また、毎年消火器訓練、避難訓練、緊急連絡訓練を実施しています。



■ 避難所サポートセット

災害発生時に印刷会社が貢献できる活動として、MUDに配慮した「避難所設営シールセット」を取り扱っています。



3 新型コロナウイルス感染拡大防止対策

新型コロナウイルス感染拡大への対策として、当社でも様々な取り組みを行っています。またコロナ禍において、当社の社会への貢献活動として、布マスクを自作するための型紙や、紙製マスクケースを作成、配布しました。



マスクや消毒液を常備

店頭での感染防止対策

紙製マスクケース

当社における感染拡大防止対策 (2020年8月12日現在)

世の中の動向	当社の取り組み
1月頃 WHOが新型コロナウイルス検出を報告、日本国内で最初の感染者確認	情報収集開始
2月頃 武漢市での感染拡大、WHO「国際的な緊急事態宣言」、クルーズ船の集団感染発生、国内でマスク不足発生、市中感染が懸念される	情報収集継続と社員への注意喚起実施(手洗い推奨など)、社員用にマスクの購入と配布、データバックアップの確認など
3月頃 イベント中止要請(2/26)、全国一斉休校(3/2)、国による3密防止呼びかけ、マスクの買い占め問題発生	事業継続計画書の見直し(感染症対策の内容改定)、感染症対策の実施を社員に周知、勤務体制の見直しなどの検討、社員への勤務中のマスク着用を要請
4月頃 愛知県独自の緊急事態宣言(4/10)、全国対象の緊急事態宣言と外出自粛要請(4/16)	感染症特別対応を社員に周知(HP・店頭にも掲示)、チーム制勤務(1日おきの出勤)、一部テレワーク・時差出勤を決定、テレワーク環境構築(VPN)、布マスク型紙作成&配布
5月頃 国の緊急事態宣言解除(5/14)、国による「新しい生活様式」の提案、愛知県独自緊急事態宣言解除(5/25)	チーム制勤務(1日おきの出勤)実施、一部テレワーク・時差出勤実施(4/21-5/29)、全社会議をリモートで実施(5/9)、非接触検温器・ビニールカーテン設置、社内の定期消毒開始など
6月頃 都道府県をまたぐ移動自粛の緩和	一部時差出勤継続、社内の感染防止対策を実施して業務継続(6/1~)
7月頃 東京都を中心に感染の再拡大	アクリル製の間仕切り設置、感染症特別対応を改定し社員に周知(HP・店頭にも掲示)、オリジナルマスクケース作成&配布
8月頃 愛知県独自の緊急事態宣言(8/6-24)、全国的な感染の再拡大	事業継続計画書の再見直し(感染症対策の内容改定)、感染症対策の実施を社員に周知(お盆休み中の行動など)



労働環境に対する取り組み



ワークライフバランスの尊重、第三者認証による付加価値向上など、労働環境の整備を行っています。

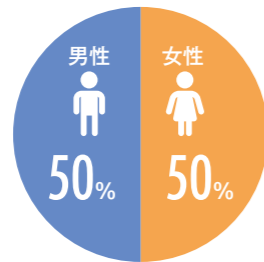
女性の活躍推進

従業員性別の割合

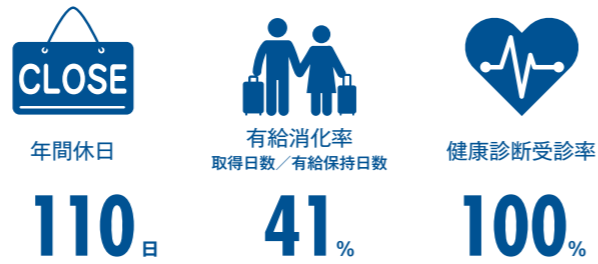
パート・嘱託含む全 32 名

主な支援

- 男性も含めた育児休暇の奨励
- 社員の子どもへの誕生日祝い



労働環境の整備



社内行事

新年会、新入社員の顔合わせ会、各社員の誕生日祝いなどで親睦を図っています。



新年会



誕生日のプレゼント

社員教育

ISO勉強会をはじめ、外部のセミナーなど、多くの勉強の機会を設けています。



勉強会



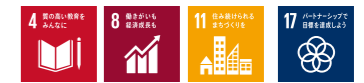
勉強会

認証取得履歴

2001年	5月	ISO 9001 (品質マネジメントシステム) 認証取得
2002年	6月	ISO 14001 (環境マネジメントシステム) 認証取得
2002年	11月	名古屋市エコ事業所認定
2004年	11月	ISO 27001 (情報セキュリティマネジメントシステム) 認証取得
2006年	12月	グリーンプリンティング工場認定
2010年	8月	FSC® 森林認証取得 (ライセンス番号: FSC® C100107)
2011年	2月	カーボンオフセット実施
2013年	4月	名古屋市親学推進協力企業
2013年	6月	全印工連 CSR 認定 ワンスター
2014年	7月	名古屋市優良エコ事業所認定
2015年	3月	おもてなし経営企業選
2015年	9月	全印工連 CSR 認定 ツースター
2017年	1月	あいち女性輝きカンパニー認定
2017年	12月	おもてなし経営企業「金」認証取得
2018年	2月	2017年度経営者「環境力」大賞受賞
2018年	4月	えるぼし企業認定
2019年	7月	あいち女性の活躍プロモーションリーダーを受嘱
2020年	3月	花の王国あいち サポート企業認定
		環境人づくり企業大賞2019 奨励賞受賞



地域に対する取り組み



例年、ボランティアや職場体験の受け入れなどの地域貢献活動を行っています。しかし53期は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、多くのイベントが中止となってしまいました。

ボランティア活動

名古屋ウィメンズマラソンのボランティアは参加を見合わせ、どまつり平針会場の事前掃除が中止となるなど、恒例の活動が出来ませんでしたが、公園掃除や資材を活用した各所への寄贈を行いました。

- ▶ 毎月の社屋前の公園掃除
- ▶ 北区の子ども食堂にペーパークラフトを寄贈
- ▶ 愛知県被災者支援センターに「手作り立体マスク型紙セット」寄贈
- ▶ 幼稚園に折り紙、残紙セットを寄贈



ペーパークラフト寄贈



マスク型紙寄贈

会社見学

受け入れ数

23 団体

受け入れ人数

66 名



印刷の流れや社内の様子などを実際に見て、身近に感じていただけます。お客さまの目的・ご要望に応じたアテンションを行っています。

職場体験・インターンシップ

受け入れ学校数

2 校

受け入れ人数

4 名

地域の中高生、大学生の受け入れをしています。



愛知県から中学生の職場体験の受け入れを評価され「応援団認定証」を頂きました。

学校・企業とのコラボレーション



バナナペーパーカレンダー

愛知県立芸術大学の学生によるイラストと作家・山下景子さんの文章で、SDGsにからめて12ヵ月を表すカレンダーを毎年制作しています。



いろんなハートカレンダー

イラストレーター茶畑和也さんのハートのイラストと間伐材を使った、人と環境に優しいカレンダーを毎年制作しています。



Seisui 信長バナナ

岐阜県の社会福祉法人とコラボし、そこが栽培する完全無農薬バナナの茎を素材に、紙を作るプロジェクトが進行中です。

自費出版

自分史や記録のまとめ、歌集など、自分の想いを形にしたいという人のお手伝いをしており、様々な実績があります。自費出版アドバイザーが企画からサポートさせていただきます。また日本自費出版文化賞にも参加しています。

自費出版アドバイザー

7 名



普及・啓発のための取り組み



これまでの活動の蓄積、取り組みをもとに、様々な普及啓発活動を行っています。形態は自社の工場見学・セミナー実施のほか、ご依頼いただいで講演させていただく、イベントに出展するなど様々です。

教育・普及啓発活動 SDGs、MUD、BCP など

講演数
21 講演

参加イベント
6 回

2019年度からSDGsに関する問い合わせが増え、53期は主にSDGsとBCPに関する講演を行いました。また学生を対象に、「働く」ことについての講義も実施しています。



学校での講演



企業でのSDGs 講義



ワークショップ

SDGs すごろく作成

分かりやすく・楽しく学べるように、MUDやSDGsをテーマにしたオリジナルすごろくを制作しました。



より効果的に楽しく学べるように何度も見せ方やルール、仕様を変更しながら制作しました。



多様化する社会に向けて



情報を発信する企業として、「すべてのひとに伝わりやすい」ことを目指して制作に取り組んでいます。

MUD (メディア・ユニバーサルデザイン)

MUD
アドバイザー

21 名

MUD
ディレクター

2 名



色覚障がい者、高齢者を始めとした、見えにくいを減らす工夫がMUDです。また日本語以外の多言語話者への配慮や、ピクトグラム（イラスト）など、視覚情報をより分かりやすくすることもMUDです。不便を感じている人に



MUD すごろく
遊びながら学べます！
(MUD コンペティション受賞作品)

も分かりやすいものは、そうでない人にとっても見やすいものになります。MUDアドバイザーの資格取得を推進し、企画・制作の段階から「すべての人に伝わりやすいデザイン」をご提案しています。

発信・広報活動について

マルワを知ると SDGs も分かる

informing our activities



53期の主な取り組みと関連するSDGs

1 インターネットでの発信
(HP・SNSなど)



2 広報誌・アナログ媒体
での発信



インターネット(HP・SNSなど)での発信

マルワのホームページ・SNS

マルワ公式サイトへ▶



事業活動や取り組み、社内の様子を発信しています。

▶ホームページ管理

公式サイト…………… <http://www.maruwanet.co.jp/>
会社見学支援.com …… <http://www.maruwanet.co.jp/tour/>
HIME 企画出版 …… <https://www.himekikakushuppan.com/>
講義・講演…………… <http://www.maruwanet.co.jp/about/sdgs/>

▶ブログ

社長のブログ…………… <http://www.maruwanet.co.jp/tori/>
スタッフブログ…………… <https://maruwastaff.wordpress.com/>

▶SNS更新

Twitter…………… https://twitter.com/maruwa_talk
Facebook…………… <https://www.facebook.com/MaruwaWorld/>

■ Happy Goods (マルワ オンラインショップ)

バナナペーパー製品などのマルワのオリジナル商品や、社内でも使っているBCP関連商品を取り扱うWebショップ。ブログやSNSと連動して運用しています。



2 広報誌・アナログ媒体での発信

■ 広報誌「ぶりんトーク」

季節毎に年4回発行。以前よりSDGsを意識し、マルワの取り組みや社員の姿、耳寄り情報をお届けしています。今期はコロナ対策グッズを2回、付録とするなどの新しい試みも行いました。特集連載はマルワのSDGs～教育編～。SDGsの取り組みに役立つ記事を目指しています。



■ 黒板

営業日に毎日黒板に手書きメッセージを更新しています。地域の皆さんに身近に感じてもらうツールとして、また見学に来てくださったお客さまへのウェルカムボードとしても活躍しています。





事業活動における環境に配慮した取組を自主的かつ積極的に実施している事業所として認定されています。



P-00032

コンプライアンス、環境、品質、雇用・労働安全、情報セキュリティ、財務、社会貢献、情報開示・コミュニケーション等バランスがとれた事業活動を目指し企業の社会的責任に努めています。



この製品は、適切に管理されたFSC®認証林およびその他の管理された供給源からの原材料で作られています。



人間の経済活動や生活などを通して二酸化炭素などの温室効果ガスを、植林・森林保護・クリーンエネルギー事業（排出権購入）による削減活動によって吸収しようとする考え方や活動です。



この印刷物は植物油インキ（植物油含有基準量20%以上の枚葉印刷用インキ）を使用しております。



この印刷物はグリーン基準に適合した印刷資材を使用し環境配慮されたグリーンプリンティング認定工場で印刷しています。



ユニバーサルデザイン(UD)の考え方に基づき、より多くの人に見やすく読みまちがえにくいデザインの文字を採用しています。



株式会社 マルワ

■本社所在地

〒468-0011 名古屋市天白区平針四丁目211番地
TEL (052)802-4141 FAX (052)802-9355

■東京営業所

東京都豊島区池袋二丁目14-2
TEL (03)5953-1732 FAX (03)5953-8907

URL <http://www.maruwanet.co.jp>

E-mail info@maruwanet.co.jp